

令和8年  
2026年

1月7日  
水曜日

第11865号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料(前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6か月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



中央畜産会が新年賀詞交歓会を開催……P2~3

## 注目のヘッドライン

ギフト売れ行きの厳しさうかがえる  
—11月分の加工品生産量

…詳細はP2

### 《新年あけましておめでとうございます》

本年も食肉・畜産業界に関するニュースを確実・迅速にお届け  
するよう、編集部一同、鋭意努力を重ねてまいりますので、引き  
続きご愛読のほどをよろしくお願い申し上げます。

(株)食肉通信社 日刊食肉速報編集部

- ▶ ギフト売れ行きの厳しさうかがえる—11月分の加工品生産量……P2
- ▶ 中央畜産会が新年賀詞交歓会を開催……P2~3
- ▶ 日本ハムの井川社長が社内向けに年頭訓示……P3
- ▶ 伊藤ハム米久HDの浦田社長が年頭所感「変化を恐れず挑戦を楽しむ一年に」……P4
- ▶ プリマハム千葉社長が年頭所感「おいしさと感動で食文化と社会に貢献」するため挑戦……P4~5
- ▶ 丸大食品が年頭所感を発表……P5
- ▶ 大阪市場の初競り、117頭が出品。活発な購買が行われる……P5
- ▶ スターゼンの横田社長がグループ社員に向けて仕事始めのあいさつ「自分がどうありたいかを考え、その理想に向かって一歩を踏み出す」…P6
- ▶ 有楽町イトシアで9日からカナダポークフェア、期間限定メニュー提供……P6~7
- ▶ プリマハム「あらびき星人ソップリン」LINEスタンプ第6弾販売……P7
- ▶ 中央畜産会が14農場をHACCP認証、計341農場に……P7
- ▶ [訃報] 宮田徹氏(エーコープ京都中央会長)……P7
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]27日……P8
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]5日……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]6日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]6日…P11

食の感動体験を創造することで  
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>



低減、食料自給率の向上を図ることが重要で、加えて、労働力不足に対応すべく、IT技術やロボット技術を積極的に導入し、省力化と生産性向上を図ることも急務である。本会としては、わが国の畜産物の大宗を生産する家族経営を基本に畜産経営の健全な発展に向け、畜産会組織をはじめ全ての会員と一体となって取り組んでいく。家畜衛生については高病原性鳥インフルエンザ、豚熱の散発的発生もみられ、予断を許さない状況が続いている。また、アジア諸国におけるアフリカ豚熱や口蹄疫発生もあり、国内への侵入リスクが高まっている。水際対策の強化と農場における飼養衛生管理基準の徹底が必須となる。政府が掲げる『農林水産物・食品の輸出額を2030年に5兆円』という目標の達成に向け、本会も日本畜産物輸出促進協会など関係機関との連携を一層強化し、輸

出拡大に貢献していく」と述べた。

来賓からは農水省の渡邊毅事務次官が祝辞を述べた他、農畜産業振興機構の天羽隆理事長が乾杯の音頭を取り、懇親を行った。会の後半では、生産者代表として、日本酪農政治連盟の柴田輝男委員長、全国肉牛事業協同組合の佐々木信弘理事長、日本養豚協会の香川雅彦会長、日本養鶏協会の高松信吾副会長が登壇し、それぞれの立場で新年のあいさつを行った。



## 日本ハムの井川社長が社内向けに年頭訓示

日本ハムでは5日、仕事始めに当たり、井川伸久代表取締役社長がニッポンハムグループ従業員向けに年頭訓示のメッセージ動画配信を行った。訓示内容(要約)は次の通り。

昨年はそれぞれの職場で業務に励んでいただき、ありがとうございます。ニッポンハムグループを取り巻く環境は、日々大きく変化している。国内では、長引く物価の高騰や消費マインドの冷え込みといった課題が続いており、消費者の購買行動やライフスタイルにも大きな影響を及ぼしている。一方、海外では、世界的な人口増加や異常気象の頻発など不安定な情勢が続いている。さらには、トランプ政権によるベネズエラへの軍事攻撃など地政学的な紛争の拡大により、不透明感が増すことが予想される。

ニッポンハムグループの企業理念は、「『食べる喜び』を基本のテーマとし、時代を画する文化を創造し、社会に貢献する」「従業員が真の幸せと生き甲斐を求める場として存在する」という二つを掲げている。良質なたんぱく質をベースに、世界中の人々に「食べる喜び」をお届けし社会に貢献することに加え、ニッポンハムグループの従業員が真の幸せと働きがいを感じられることこそが、ニッポンハムグループの存在意義であるといえる。私たちは今後もこの使命を果たすべく、持続的で強固な事業体制の確立と、明るく働きがいのある

職場づくりに取り組んでいかなければならない。

中期経営計画2026では、三位一体の全社戦略、「構造改革」「成長戦略」「風土改革」に取り組んでいる。今後も、グループが継続的な成長を実現するためには、「新たな成長ステージ」へと進むことが必要。「既存事業のさらなる進化」はもちろんのこと、R&D戦略の「プロテイノベーション」による「新規事業の創出」や、「社外との共創」なども積極的に進め、より一層「成長戦略」を加速させる。また「構造改革」として、全社視点でバリューチェーンの価値を最大化する事業基盤の再構築にも取り組んでいく。これら「成長戦略」と「構造改革」を両輪で回すことにより「新たな成長ステージ」に到達し、企業価値を高めていく。

ニッポンハムグループは、単なる集団ではなく、一つの「チーム」。チームとは共通の目的を持ち、メンバー全員が目標達成に向けて協力し、支え合いながら成果を生み出す集団。環境の変化や予測できない事業リスクも成長の機会と捉え、全員が一つのチームになって、「もっと変わらなあかん!!」を実践していこう。



## 伊藤ハム米久HDの浦田社長が年頭所感 「変化を恐れず挑戦を楽しむ一年に」

伊藤ハム米久ホールディングスの浦田寛之社長(写真)は5日、2026年の年頭所感を発表した。概要は次の通り。

【事業環境の変化と対応】昨年は、世界経済と国際情勢が激動した1年だった。例えば、米国における第2次トランプ政権の発足とそれに伴う関税政策は、国際貿易の流れを一変させ、また世界各地での対立によって地政学リスクはさらに高まっている。当社としても事業環境の変化を注視し、対応できるよう準備をしていく必要がある。国内では、高市総理の誕生により、女性活躍推進の流れが加速した。当社としてもこの機運を捉え、多様な人材がその能力を最大限に発揮できる組織づくりを一層推進していく。

世界経済の変動や国内外のインフレに加えて、業界にとっては国内外で発生している家畜伝染病の影響を考える必要がある。このような変化に対して、迅速かつ的確に対応し、継続的に価値を提供できる組織を目指していこう。

【皆が前向きにチャレンジできる組織へ】今年度、ここまでの現状を振り返る。まず、食肉事業は、既存契約見直しや川上への投資などの積極的な取り組みにより、着実に業績が向上している。次に加工食品事業でも、さまざまなコストが上昇する環境の中、これまでの考え方に捉われない取り組みが始まり、改革の

芽が育ち始めていると感じている。これをさらに大きな成果につなげていこう。

26年度は現中期経営計画の最終年度であり、27年からの次期計画へバトンをつなぐ、特に大事な年である。昨年から継続している、「意識改革」「行動変容」「決断・実行」を加速させ、全社一丸となってまい進しよう。そのために、現在の人事・組織の仕組みを所与のものとして、皆が前向きにチャレンジできる環境をつくり、一人ひとりがイキイキと挑戦する組織にしていく。

【信頼を守る、品質とコンプライアンス】最後に、品質とコンプライアンスについて。当社のブランドに対する信頼は、長年の努力の結晶である一方、失うのは一瞬である。品質・安全・コンプライアンスは、企業の存続基盤そのものである。食品衛生や安全、コンプライアンスに対する見識を高め、基本動作を徹底しよう。

【挑戦の年に向けて】26年の干支は「<sup>えと</sup>丙午<sup>ひのえうま</sup>」。「明るく活発で、新しいことを始めるのに適した年」とされている。変化を恐れず挑戦を楽しむ1年にしよう。



## プリマハム千葉社長が年頭所感 「おいしさと感動で食文化と社会に貢献」するため挑戦

昨年の事業環境は、原材料価格の高騰や畜肉原料相場の上昇など、厳しい状況が続いた。このような中、当社グループは中期経営計画の達成に向けて諸施策を講じてきた。

加工食品事業では、「香薫 あらびきポーク」の好調な販売を筆頭に、ハム・ソーセージのさらなるシェア拡大を図ることができた。新商品開発では、昨年春に発売した「ギルティソーセージ」など、ユニークな商品が注目を浴び、メディアに取り上げられた。

今年も多様化するお客さまのニーズに対応した商

品開発や、キャンペーン・SNSによる販促活動を積極的に展開し、ファン層の拡大に取り組む。

食肉事業では、当社オリジナルブランドの拡販や加工食品事業と連携した商品開発などの施策により、販売数量を拡大することができた。2026年も引き続き、お客さまや取引先ニーズを捉えた仕入れ・商品開発に取り組んでいくこと



で、さらなる利益率向上を図っていく。

サステナビリティ戦略では、重要課題(マテリアリティ)の解消に向けた生物多様性に関する取り組みの一環として、自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)への賛同を表明した。

持続可能な社会の実現と当社グループの成長に向けて、今年もグループ一丸となり「おいしさと感動で、食文化と社会に貢献」するため、挑戦し続けていく。

## 丸大食品が年頭所感を発表

丸大食品はこのほど、佐藤勇二社長(写真)の年頭所感を発表した。発表の内容は次の通り。

昨年を振り返ると、国内情勢では、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などから、緩やかな回復基調で推移した。一方で、米国の通商政策の影響や継続的な物価上昇による個人消費への影響、金融資本市場の変動などによる不確実性が高まっており、依然として不透明な状況が続いている。

また、当業界を取り巻く環境としては、原材料価格の高騰に加え、人件費、物流費などのコスト上昇に伴う価格改定の実施などにより生活必需品を中心とした物価上昇が続く中で、消費者の先行きへの不安による節約志向の高まりや市場構造の変化に対応すべく、毎年見直しを行うローリング方式を採用し、2026年3月期を起点に中期経営計画を策定している。その中期経営計画で、五つの基本方針を掲げている。それにより「新たな顧客価値の創造」「収益構造の改革」「事業領域の拡大」「人財の育成」「持続可能な社会への貢献」を実現すべく取り組んでいる。

このような状況の中、当社グループは、お客さまに、より安全でより安心して召し上がっていただける食品

を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してきた。

当社は1986年より、ハム・ソーセージを通じて公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)に協賛し、長きにわたって日本のスポーツ振興をサポートしてきた。今年も、4年に1度開催される冬季オリンピックが、2月にイタリアのミラノ・コルティナで開催される。丸大食品は世界の舞台で活躍するTEAM JAPANを応援するとともに、店頭や食卓から、全ての人々の夢や希望に「食を通じて人と社会に貢献する企業」を目指していく。

その他にも、当社グループの強みを生かしたESG経営の推進を図り、環境に配慮した企業活動をはじめ、食育活動、子ども食堂への食材提供などの社会貢献活動に取り組み、次世代へとつなぐ持続可能な社会の実現に貢献すべく、「食」の新しい価値創造に向けてチャレンジを続けていく。



## 大阪市場の初競り、117頭が出品され活発な購買が行われる

大阪市食肉市場は6日、新年の初競りを実施した。冒頭、同市場の安藤信之取締役副社長が生産者・買参者に対し、旧年中の厚意に謝意を示した後「本日の初競りは、生産者の方々が丹精込めて育てた肥育牛117頭が出品されている。何とぞ、力強い購買をいただきたい」と年頭の辞を述べた。競りでは、九州、四国、中国、関西、中部地域から幅広く集荷された黒毛和牛93頭、交雑牛24頭を出品。活況を呈した。



## スターゼンの横田社長がグループ社員に向けて仕事始めのあいさつ 「自分がどうありたいかを考え、その理想に向かって一歩を踏み出す」

スターゼンの横田和彦社長(写真)は5日、グループ社員に向けて仕事始めのあいさつを行った。概要は次の通り。

スターゼングループの皆さん、新年明けましておめでとう。昨年は世界的なインフレや食肉価格の高止まり、円安といった逆風が続き、私たちの事業環境は決して平坦ではなかった。しかし、そうした中でも、一人ひとりの努力と創意工夫により、当社は確かな成長を遂げることができた。皆さんの奮闘に改めて感謝する。

当社は、昨年、経営ビジョンに基づく「10年後のありたい姿」である長期ビジョンを初めて掲げ、その実現に向けた「中期経営計画2030」を策定・公表した。中計のテーマは「強みのさらなる進化とグローバル市場への挑戦」。国内で培った基盤を武器に、海外市場でも「安全・安心・高品質」な商品・サービスを提供し、スターゼンブランドの価値を一段と高めていく。

昨年は、その挑戦に向けた準備の年でもあった。海外に向けては、水迫畜産グループとの資本業務提携、豪州Wagyu肥育牧場の買収、シンガポールの食肉加工・販売会社の完全子会社化を進め、日本

産プレミアム食肉や豪州Wagyuに加え、ハンバーグやローストビーフなどの加工食品の海外展開が動き始めている。同時に、海外展開を支える国内事業においても着実に施策を進めている。ブランディング活動による高付加価値商品の開発に取り組むほか、営業拠点としてはグループ最大規模となる伊丹営業センターを竣工し、西日本の営業基盤の強化を図った。こうした一連の取り組みは、当社の未来への挑戦を力強く後押しするものだ。

そして、この挑戦を実現するのは、他ならぬ皆さん一人ひとりだ。「To Do(こうすべき)を待つのではなく、To Be(こうなりたい)で動く」という姿勢こそが、スターゼンの未来をつくる。自分や自部署がどうありたいかをしっかりと考え、その理想に向かって一歩を踏み出す。その積み重ねが、会社のビジョンを現場から形にしていく力になる。

皆で情熱と行動力を持って挑戦を加速させ、未来を切り拓き、世界に誇れる企業へと成長していこう。



## 有楽町イトシアで9日からカナダポークフェア、期間限定メニュー提供

カナダポークでは、東京都千代田区の「有楽町イトシア」で1月9～22日、「カナダポークフェア」を開催する。フェアには同施設内の飲食店舗10店が参加。各店舗がカナダポークを使用したオリジナルメニューを期間限定で提供する。有楽町イトシアは、30～50代の女性を中心に年間700万人(2024年度)が訪れる人気の複合型商業施設。カナダポークでは、小売に加え、外食へのアプローチを強化しており、こうした飲食店が複数参加するフェアを行うのは初の試みとなる。カナダポークのおいしさを実際に味わってもらうのはもちろん、ポスターなどを通じてVCPのさらなる認知度拡大を図る。参加店舗と提供メニューは次の通り(価格はすべて税込み)

【B1F】有楽町うまやの楽屋「カナダポークの厚切りトンテキ定食」(1500円/1日10食限定)▷モアナキッチンカフェ「カナダポークのステーキプレート」(1480円)▷東京カレー屋名店会「カナダポークのヒレカツカレー」(1200円/1日10食限定)▷イタリアンダイニングDoNA「ジャポネーゼ〜豚バラ肉となす・きのこの和風〜」(1250



円/1日12食限定)▷玄米米「カナダポークの塩  
麴グリル 玄米ボウル」(M・1380円、L・1480円)

【2F】こてがえし「カナダポーク使用 トンテキ」  
(ランチ定食・1210円、単品トンテキ・880円/1日5  
食限定)▷ダッキーダック「豚バラ肉とほうれん草・き  
のこの豆乳くりーむスープパスタ」(1300円/1日10  
食限定)▷椿屋珈琲 有楽町茶寮「豚バラ肉と九条

ネギのしょうが和風ソース」(ランチセット・1730円  
/1日10食限定、お食事セット・1880円)

【3F】KAMONKA 點「カナダポークヒレ肉と  
野菜のオイスターソース炒め」(ランチ・1500円、  
ディナー・1500円/1日20食限定)▷ダイナミック  
キッチン&バー 響「カナダポークの味噌づけ焼き」  
(1500円)

## プリマハム「あらびき星人ソップリン」LINE スタンプ第6弾販売

プリマハムはこのほど、プリマハムキャラクター「あら  
びき星人ソップリン」のLINEスタンプ第6弾の販売を  
開始した。今回は、新プリマハムキャラクター「はむま

る」も仲間入りした、1セットで全24種類のラインアッ  
プ(120円/税込み、有効期限なし)となっている。

## 中央畜産会が14農場をHACCP認証、計341農場に

公益(社)中央畜産会はこのほど、初回認証審査申請  
のあった3農場と、更新認証審査申請のあった11農  
場について認証したと発表した。14農場は以下のと  
おり。

【初回認証農場】(株)ホクリヨウ吉目木農場(宮城  
県、採卵鶏)、(株)高井養鶏富士見農場(群馬県、採  
卵鶏)、(株)増田畜産(千葉県、肉用牛)

【更新認証農場】JA菊池地域農業協同組合畜産  
部キャトルブリーディングステーション事業所(熊本  
県、乳・肉用牛)、JAえひめフレッシュフーズ(株)来第

一農場(愛媛県、採卵鶏)、(有)都路農場岩井(茨城  
県、採卵鶏)、(株)ホクリヨウ北見農場(北海道、採卵  
鶏)、(株)ホクリヨウ十勝農場(北海道、採卵鶏)、(株)山  
田鶏卵山田ガーデンファーム(山形県、採卵鶏)、(有)  
高田牧場(大分県、肉用牛)、(株)エムイーシーフーズ  
木更津農場(千葉県、採卵鶏)、牧舎みねむら(長野  
県、肉用牛)、東北養鶏(株)(青森県、採卵鶏)、(有)将  
基酪農鮎滝ファーム(香川県、乳用牛)

これにより認証農場は計341農場となった。

## 【訃報】宮田徹氏(エーコープ京都中央会長)

宮田 徹(みやた・とおる=エーコープ京都中央  
会長) 2025年12月31日、不慮の事故で急逝した。  
同氏は1963年8月生まれ。享年63歳。

同氏は(株)エーコープ京都中央会長として京都府内  
を中心にスーパー業態の食肉小売・卸を展開。(株)中  
村屋、(株)ミヤタ物産、エーコープ京都中央の3社がグ  
ループ会社としてそれぞれ事業を拡大してきたが、昨  
年、Aグループとして事業を展開することを発表して  
いた。

通夜は1月3日、告別式は4日。京都市南区の公益  
社南プライトホールで執り行われ、多くの関係者が参



列し故人の冥福を祈った。喪主は長男で同社代表取  
締役の宮田貴之氏。

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 12月27日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,132	2,532	2,269	-	-
		安値	2,064	2,106	2,007	-	-
		平均	2,514	2,276	2,095	-	-
	56頭	頭数	41	10	5	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,029	2,299	2,146	-	-
		安値	2,090	2,063	1,943	-	-
		平均	2,392	2,181	2,031	-	-
	84頭	頭数	60	18	6	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	1,653	1,509	1,441	1,291	-
		20頭	頭数	2	5	6	7
	雌 C	平均	-	1,457	-	1,341	-
		3頭	頭数	-	1	-	2
	去 B	平均	1,679	1,628	1,488	1,472	-
		24頭	頭数	1	7	14	2
去 C	平均	-	1,379	-	-	-	
1頭	頭数	-	1	-	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	-	-	-	(競り)	(相対)	-
売買	247	685	13.0	-	-	38

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	-	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
和 去	A	-	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	434
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	324
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	631	737	719	562	486
	安値	464	454	443	426	324
	平均	526	475	468	479	452
	頭数	( 4)	(280)	(291)	( 71)	( 39)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入相対	高値	-	-	-	-	-
安値	-	-	-	-	-	
平均	-	-	-	-	-	
頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)	

[全国と畜概算頭数] 農水省統計部発表 (頭) ※12月27日分公表なし

	1月5日	12月26日	(1月累計)
豚	74,000	54,400	74,000
成牛計	4,430	470	4,430
和牛雌	900	130	900
和牛去勢	1,270	160	1,270
乳牛雌	340	10	340
乳牛去勢	580	-	580
交雑雌	590	100	590
交雑去	750	70	750

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 12月27日

東京	1,463 円 (26日 1,400 円)
大阪	- 円 (26日 - 円)

[豚・全農建値] 12月27日~1月5日休載

上	中	取引頭数	市況
- 円	- 円	- 頭	-

※東京、大阪は1月5日休市

[日本食肉流通センター] 12月22日~12月28日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,522,711 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,279	1,322	1,395	1,327	108,176
うで	723	756	773	754	97,911
ロース	1,058	1,183	1,197	1,157	124,984
ばら	1,285	1,322	1,404	1,338	193,428
もも	775	807	810	797	203,184
ヒレ	1,088	1,133	1,166	1,136	13,245
セツト	968	1,037	1,082	1,036	781,783

◇近畿圏 総重量 532,361 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,318	1,405	1,436	1,403	58,318
うで	610	702	737	686	70,366
ロース	1,080	1,194	1,263	1,189	96,243
ばら	1,296	1,444	1,537	1,458	131,874
もも	697	719	742	718	100,170
ヒレ	1,145	1,189	1,300	1,205	7,536
セツト	964	1,094	1,121	1,058	67,854

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 1月5日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (27日)	中加重 (27日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	648 ( 616 )	- ( 616 )		-	もちあい
仙台 [中]	532 ( - )	447 ( - )	453	77	反発
栃木 [地]	- ( - )	- ( - )	-	-	休市
茨城 [地]	586 ( - )	573 ( - )	1,240	211	急反発
群馬 [地]	558 ( 600 )	510 ( 530 )	2,544	1,680	続落
さいたま [中]	557 ( 476 )	547 ( 458 )	308	307	急伸
東京 [中]	- ( 475 )	- ( 468 )	-	-	休市
横浜 [中]	- ( - )	- ( - )	-	-	休市
山梨 [地]	- ( - )	- ( - )	166	48	休市
浜松 [地]	- ( - )	- ( - )	-	-	競り休止
名古屋 [中]	- ( - )	- ( - )	-	-	休市
京都 [中]	- ( - )	- ( - )	138	-	休市
大阪 [中]	- ( - )	- ( - )	-	-	休市
神戸 [中]	- ( - )	- ( - )	160	-	休市
岡山 [地]	- ( 614 )	- ( 613 )	-	-	休市
広島 [中]	552 ( - )	500 ( - )	396	133	初市1本値
福岡 [中]	630 ( - )	589 ( - )	498	152	急反発

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 12月29日～1月4日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 557,424 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,264	1,301	1,355	1,295	34,878
うで	670	750	764	744	28,614
ロース	1,123	1,199	1,246	1,200	59,930
ばら	1,305	1,362	1,382	1,348	73,699
もも	702	805	833	794	47,612
ヒレ	1,069	1,241	1,404	1,230	2,228
セット	921	1,029	1,133	1,025	310,463

◇近畿圏 総重量 186,945 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,318	1,404	1,443	1,392	25,152
うで	616	702	737	697	19,716
ロース	1,085	1,177	1,245	1,186	31,130
ばら	1,307	1,383	1,512	1,382	59,648
もも	648	724	770	732	29,112
ヒレ	1,242	1,323	1,365	1,331	3,034
セット	1,076	1,079	1,079	1,079	19,153

[食鳥正肉日経相場] 1月5日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	722	821	996	273
ムネ	471	544	690	157

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	701	798	1,050	5
ムネ	479	542	614	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 1月5日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,063	748	550	600	650
安値	785	527	290	360	350
平均	821	554	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日区間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 1月6日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 82頭	高値	3,131	2,679	-	-	-
		安値	2,279	2,162	-	-	-
		平均	2,551	2,325	2,175	-	-
		頭数	53	28	1	-	-
	雌 B -頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	去 A 146頭	高値	3,035	2,316	2,266	-	-
		安値	2,161	2,217	1,998	-	-
		平均	2,481	2,262	2,155	2,009	-
		頭数	110	28	7	1	-
去 B 1頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	2,163	-	-	-	
	頭数	-	1	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 26頭	平均	-	1,649	1,611	1,489	-
		頭数	-	4	16	6	-
	雌 C 3頭	平均	-	1,587	-	1,371	-
		頭数	-	1	-	2	-
	去 B 18頭	平均	-	1,689	1,628	1,511	-
		頭数	-	3	8	7	-
去 C 2頭	平均	-	-	1,558	1,405	-	
	頭数	-	-	1	1	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	399 350	1,013 1,137	- 8.0	(競り)	(相対)	- 60

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	-	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
和 去	A	-	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	1,084	972
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	689	798	864	842	864
	安値	605	562	508	443	437
	平均	648	608	589	544	537
	頭数	( 6)	( 326)	( 437)	( 347)	( 21)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)

[大阪食肉卸売市場] 1月6日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,554	2,226	-	-	-
(頭数)	( 20)	( 11)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
和 去 A	2,569	2,216	-	-	-
(頭数)	( 52)	( 8)	( 1)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,808	1,642	1,661	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,776	1,744	1,578	-
C	-	-	1,651	-	-
豚	-	610	563	469	480

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	1月6日	1月5日	(1月累計)
豚	72,500	74,000	146,500
成牛計	4,870	4,430	9,300
和牛雌	1,250	900	2,150
和牛去勢	1,260	1,270	2,530
乳牛雌	910	340	1,250
乳牛去勢	420	580	1,000
交雑雌	450	590	1,040
交雑去	580	750	1,330

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 1月6日

東京	1,589 円	(5日)	- 円
大阪	1,658 円	(5日)	- 円

[豚・全農建値] 1月6日

上	中	取引頭数	市況
574 円	557 円	1,292 頭	-

と畜 売買	牛 103 頭	豚 199 頭	牛概況	強含み
	牛 116 頭	豚 217 頭	豚概況	反発

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 1月6日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (5日)	中加重 (5日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	-	-	もちあい
仙台 [中]	603 (532)	569 (447)	460	67	急伸
栃木 [地]	- (-)	- (-)	-	-	休市
茨城 [地]	563 (586)	560 (573)	1,546	391	下押し
群馬 [地]	576 (514)	466 (421)	2,496	436	急続伸
さいたま [中]	604 (557)	599 (547)	251	254	急続伸
東京 [中]	608 (-)	589 (-)	1,013	1,137	急騰
横浜 [中]	- (-)	- (-)	-	-	休市
山梨 [地]	656 (-)	641 (-)	151	97	上伸
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	601 (-)	584 (-)	989	240	続伸
京都 [中]	578 (-)	556 (-)	107	138	もちあい
大阪 [中]	610 (-)	563 (-)	199	186	反発
神戸 [中]	704 (-)	667 (-)	-	160	-
岡山 [地]	548 (-)	541 (-)	385	398	暴落
広島 [中]	552 (552)	502 (500)	336	34	もちあい
福岡 [中]	594 (630)	562 (589)	592	175	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 12月30日～1月5日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 514,884 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,193	1,305	1,404	1,310	30,821
うで	690	740	764	735	34,534
ロース	1,026	1,146	1,229	1,119	70,388
ばら	1,166	1,305	1,408	1,274	63,360
もも	713	762	821	766	53,010
ヒレ	998	1,069	1,210	1,067	1,665
セット	943	943	1,133	983	261,106

◇近畿圏 総重量 184,703 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,318	1,405	1,413	1,378	23,720
うで	610	691	728	677	20,926
ロース	1,080	1,255	1,255	1,200	35,612
ばら	1,307	1,419	1,508	1,416	50,666
もも	648	702	716	698	30,817
ヒレ	1,156	1,242	1,323	1,247	3,303
セット	1,076	1,133	1,133	1,111	19,659

[食鳥正肉日経相場] 1月5日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	722	821	996	273
ムネ	471	544	690	157

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	701	798	1,050	5
ムネ	479	542	614	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 1月5日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,063	748	550	600	650
安値	785	527	290	360	350
平均	821	554	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### ■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### ■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### ◆食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### ◆イベント

#### ■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### ◆教材&レポート等

#### ■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男  
鏡見 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

#### ■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

#### ■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

#### ■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

### ◆ステーショナリー

## 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します